

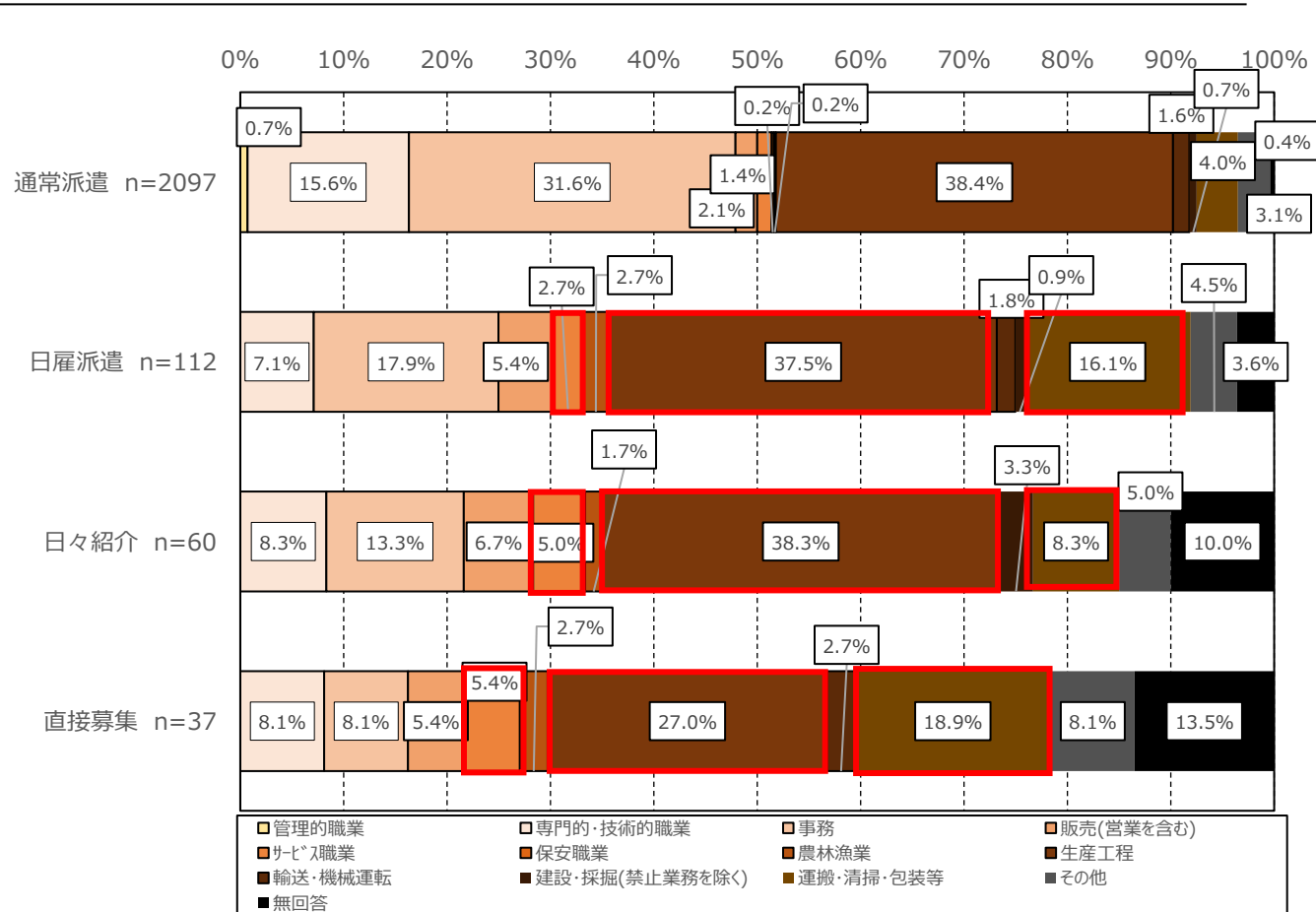
企業はどのように短期労働力を活用しているのか

(2) 企業はどのように短期労働力を活用しているのか

① 業務内容・レベル (業務内容)

- 短期就労は、通常派遣に比べ「専門的・技術的職業」、「事務」の割合が低く、「サービス職業」、「運搬・包装等」の割合が高い。
- いずれの短期の就労形態でも「生産工程」に従事している割合が最も高い。

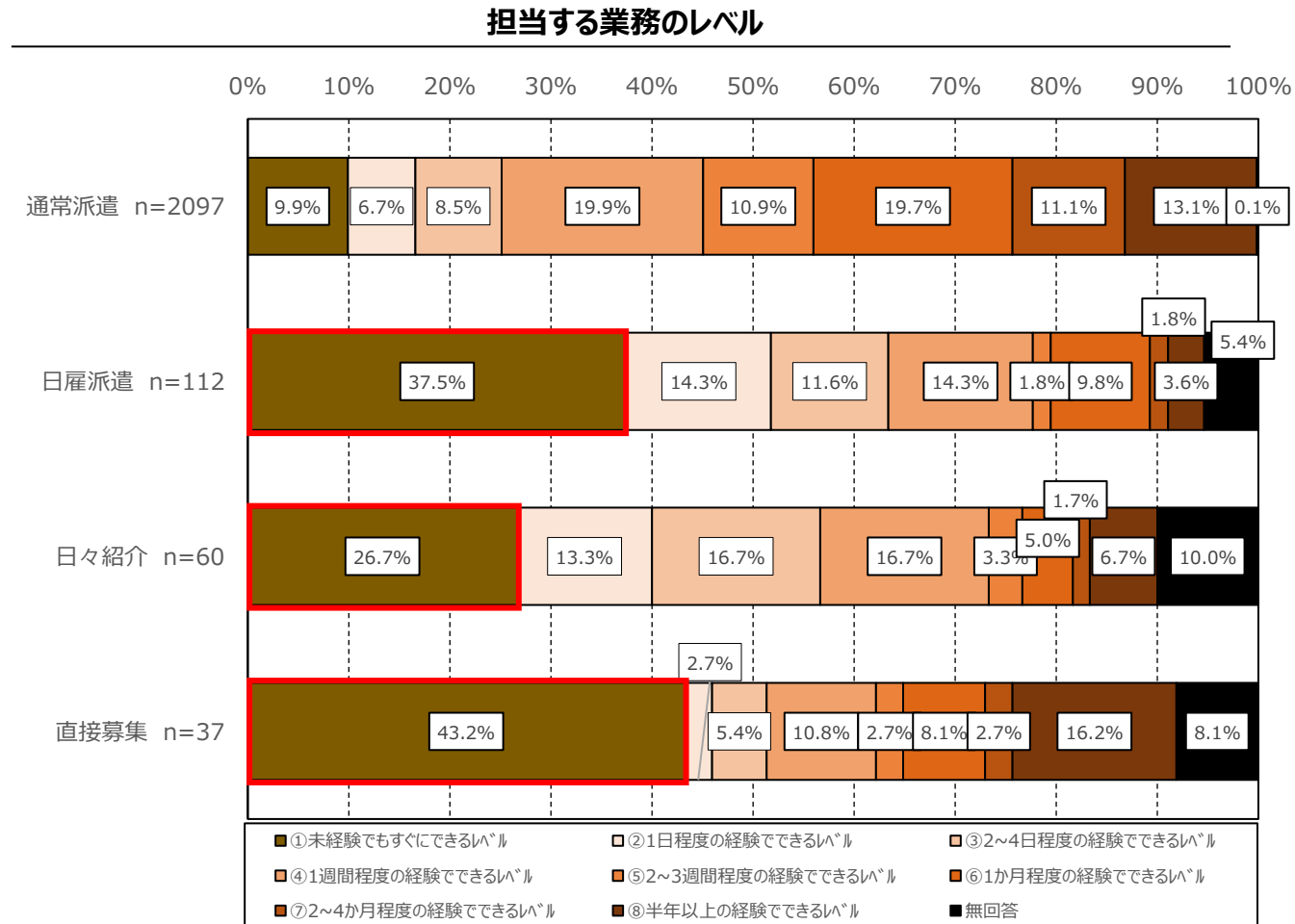
担当する業務内容



(2) 企業はどのように短期労働力を活用しているのか

① 業務内容・レベル (業務レベル)

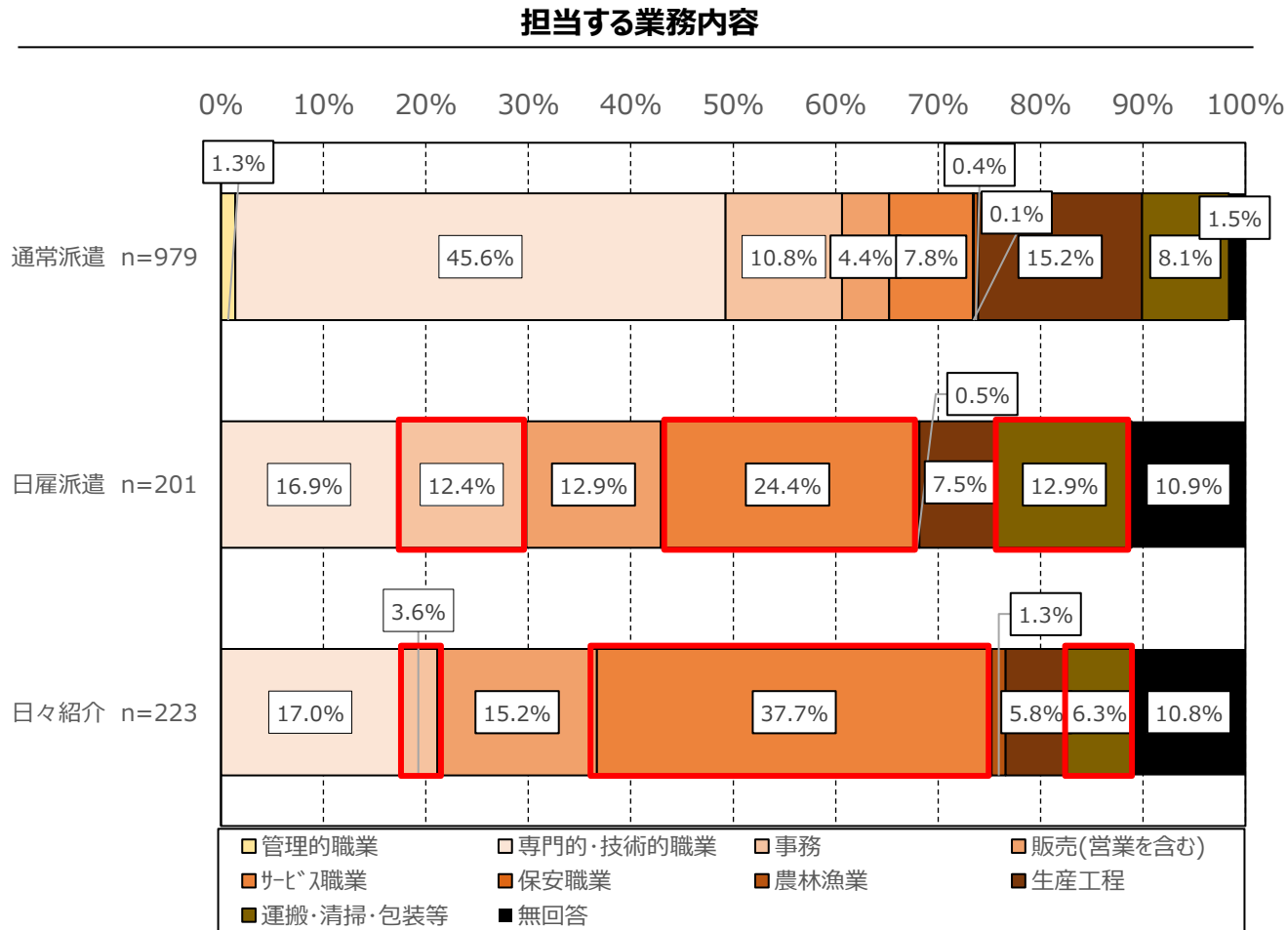
- 業務レベルについては、通常派遣では「1か月程度の経験のできるレベル」が最も多いのに対し、短期就労形態では「未経験でもすぐのできるレベル」に従事している事業所の割合が最も高い。



(2) 企業はどのように短期労働力を活用しているのか

① 業務内容・レベル (業務内容)

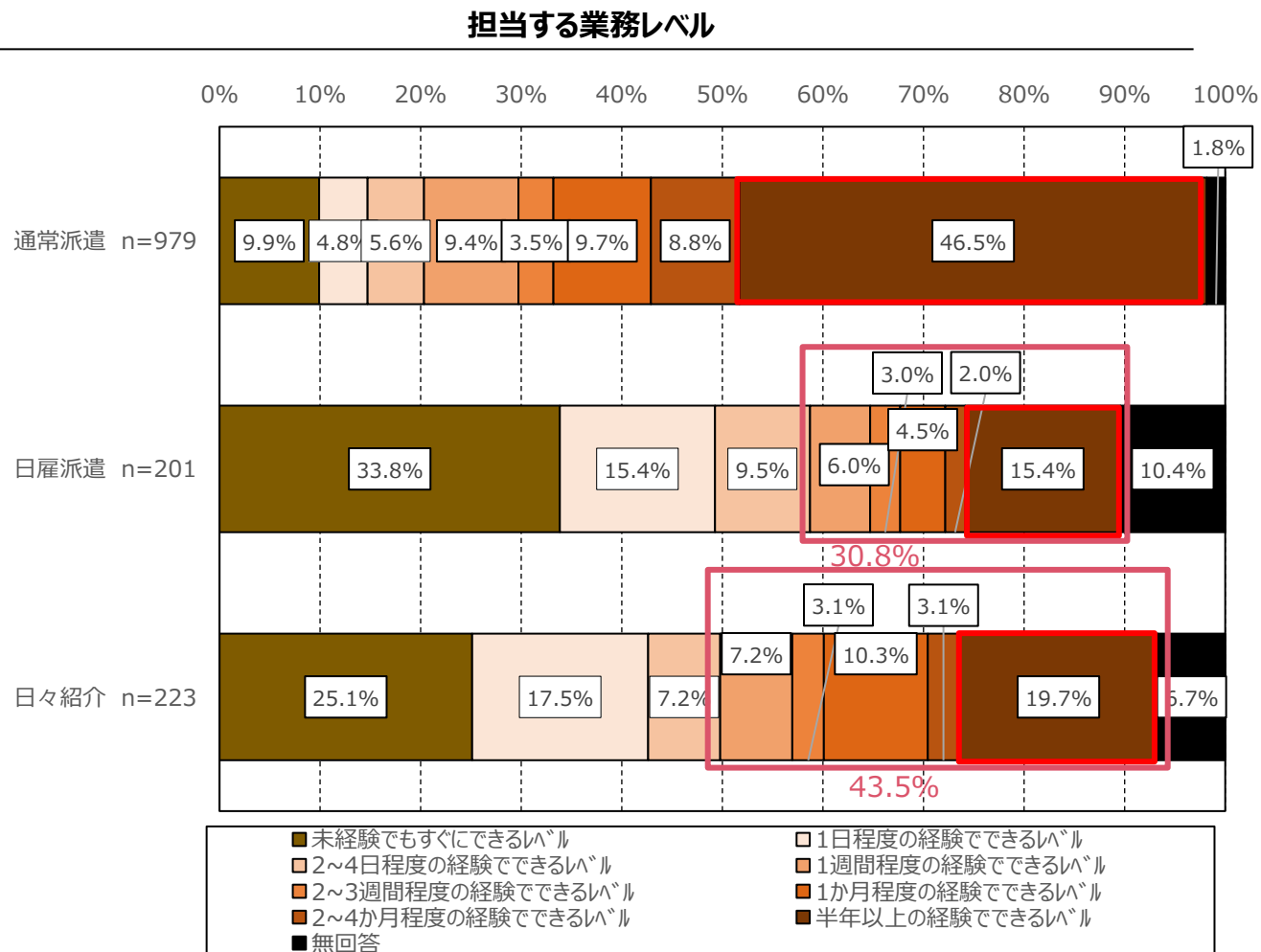
- 通常派遣と比較して、日雇派遣と日々紹介における主な派遣/紹介職種は類似している。
- 一方で、事務と運搬・清掃・包装等における派遣/紹介は日々紹介よりも日雇派遣に多く、販売とサービス職業における派遣/紹介は日雇派遣よりも日々紹介に多い。



(2) 企業はどのように短期労働力を活用しているのか

① 業務内容・レベル（業務レベル）

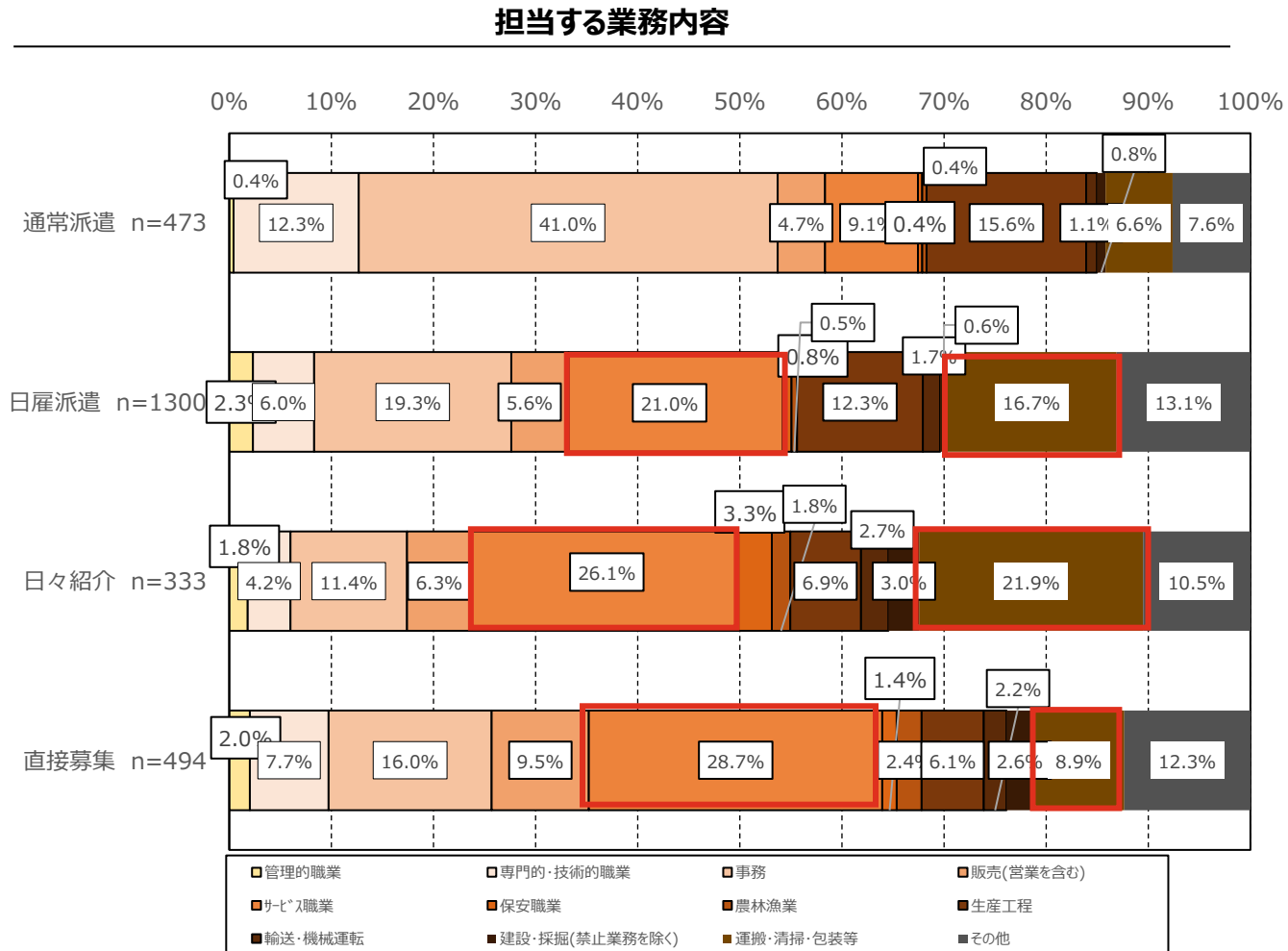
- 通常派遣と比較して、日雇派遣と日々紹介においては半年以上の経験のできる業務が少ない。
- 未経験でもすぐにできるレベルでの派遣/紹介は、日々紹介よりも日雇派遣に多く、1週間程度の経験のできるレベル以上の業務における派遣/紹介は、日雇派遣よりも日々紹介に多い。



(2) 企業はどのように短期労働力を活用しているのか

① 業務内容・レベル (業務内容)

- 短期就労は、通常派遣に比べ「専門的・技術的職業」、「事務」の割合が低く、「サービス職業」、「運搬・包装等」の割合が高い。



(2) 企業はどのように短期労働力を活用しているのか

① 業務内容・レベル (業務レベル)

- 短期就労は、通常派遣に比べ、業務レベルとしては「未経験でもすぐにできるレベル」の割合が高い。
- 短期就労間での比較では、職種と業務レベルともに大きな差異は見られないが、日雇派遣は他の2種よりも「未経験でもすぐにできるレベル」の業務に従事している割合が高い傾向にある。

